

こう べ かん じ たん けん たい  
**神戸漢字探検隊**

さけ こうふく  
**酒あれば幸福!?**

漢字は、古代人の知恵の結晶、時空を超えた贈り物です。  
 身近な物と漢字の結びつきを探る、京都で大好評の「漢字探検隊」が、**神戸に登場**です。  
 今回は、酒造りからできた漢字の成り立ちを学びます。  
 小学生と保護者が対象の**親子の部**と、中学生以上が対象の**一般の部**との二部構成です。

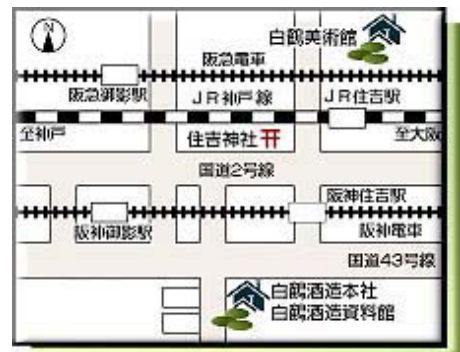
日 時 **2008年7月26日(土)**  
**一般の部(中学生以上)** 10時30分~12時  
**親子の部** 14時~15時30分



場 所 **白鶴酒造資料館**

TEL:078-822-8907 FAX:078-822-4891

阪神住吉駅下車、徒歩約5分  
 JR住吉駅下車、徒歩約15分  
 阪急御影駅下車、車で約10分



申し込み **費用は、200円(小学生以上 資料代)**  
**未就学児が参加する場合はご相談ください**

**定員は、各回50名。先着順。**

**葉書、ファクス、E-mailにて、以下の項目を記入して下記まで送ってください。**

参加の部(一般または親子)  
 住所 氏名 年齢 児童・生徒・学生の方は、学校名・学年  
 連絡先(電話・ファクス番号、E-mailアドレス等)

問い合わせ **立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所**

申し込み先 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
 電話 075-466-3470 ファクス 075-465-7899  
 E-mail [toyomoji@st.ritsume.ac.jp](mailto:toyomoji@st.ritsume.ac.jp)



こう べ かん じ たん けん たい なに しらかわしずか だれ  
**神戸漢字探検隊って何? 白川静って誰?**

このちらしの裏を見てください

## 神戸漢字探検隊って何？

井戸の「井」と、「井」は似ているけど、何か関係があるの。

北斗七星の「斗」って何のこと。

540 ミリリットル、1.8 リットルなど中途半端な単位の瓶が多いのはなぜ。

こんなことを考えたことはありませんか。漢字ができたのは、大昔の中国です。でも、わざわざ

中国へ行かなくても、今の神戸でその答えを見つけることができます。「神戸漢字探検隊」は、教室

から飛び出して、みんなで漢字の謎を探ります。

### 一般の方へ

白鶴酒造資料館を見学して、「水・酉・福」など、酒造りからできた漢字の成り立ちを学習します。  
資料館と立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の職員による解説を行います。

## 白川静って誰？

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000  
年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。

しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。およそ 50 年前のこと  
です。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立  
ちについての新しい考えを発表しました。

### 一般の方へ

白川静博士（1910-2006）は、漢字研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000 年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。

白川博士は、1955 年から白鶴美術館にて西周金文の解読と注釈、「説文」の講義を行い、また 1962 年から 84 年にかけて同館誌に「金文通釈」を発表しました。